

昭和8年、当時の新庄町に設置された旧農林省積雪地方農村経済調査所（雪害調査所・雪調・雪害などと略称する）は、昭和前期の経済不況や連年の凶作によって疲弊のどん底にあった、積雪地方農山村の経済更生をはかることを目的として誕生しました。

本展は、雪国に生き農村経済更生に熱い情熱をかけた松岡俊三や地域の人々、また雪害調査所の輝かしい業績を紹介します。

## 一 展示構成（主な展示資料）一

### 第1部 松岡俊三の戦い

雪害救済運動を提唱して「雪害調査所」設置に尽力した楯岡出身の代議士松岡俊三の活躍を紹介します。

松岡俊三関係資料 / 雪の日本社編集資料 / 雪の観音堂掲額 / 護持仏 など



護持仏（父母報恩寺 蔵）

### 第2部 雪害調査所

積雪地方農山漁村の経済更生に関する調査・研究・指導機関として設置された雪害調査所を取り上げます。

実験農家模型 / 雪害調査所看板 など



ペリアン指導寝椅子とクッション（本館 蔵）



実験農家写真（雪の里情報館 提供）

### 第3部 農家副業としての民芸品

農家の副業として地域振興をめざし「雪害調査所」が収集した民芸品の数々を展示します。

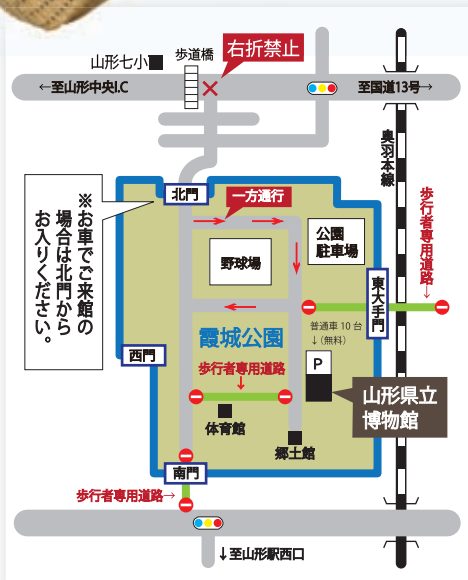
柳宗悦手紙 / ペリアン来訪記録 / 雪害調査所収集資料（県内・県外・朝鮮・蒙古）など

### 交通案内

徒歩：JR山形駅より15分  
 自家用車：山形道山形蔵王I.Cより5km約10分  
 東北中央道山形中央I.Cより3km約5分



丸椅子（本館 蔵）



背景写真 松岡俊三の演説風景（雪の里情報館 提供）